

# 長く斬る! まとめて斬る!

ヨダギ

ミスガヤツリ

オモダカ

アゼナ類

クログワイ

ノビエ

イボクサ

ホタルイ

田植え同時処理もできます。  
(1キロ粒剤)

新発売 水稲用 初・中期一発処理除草剤

# ナギナタ<sup>®</sup>

1キロ粒剤 豆つぶ<sup>®</sup> 250 ジャンボ

自然に学び 自然を守る



MY-100

ピリミスルファン  
ベンゾピシクロン

®:クミアイ化学工業(株)登録商標

## 特長

- 新規有効成分ピリミスルファン配合で、幅広い雑草に高い効果を示します。
- ノビエに対する効果が高く、長期間発生を抑えます。
- SU抵抗性雑草や特殊雑草のイボクサ、アシカキにも高い効果を有します。
- 水稲に対する安全性が高く、田植同時処理が可能です(1キロ粒剤)。
- 10アール当たり250gと軽量で、拡散性に優れた豆つぶ製剤です(豆つぶ250・ジャンボ)。
- フロアブル剤のように、袋のまま畦畔からの周縁散布ができます(豆つぶ250)。

## 適用雑草及び使用方法

1キロ粒剤	作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
農林水産省登録 第23115号	移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道・東北) ヒルムシロ セリ オモダカ(近畿・中国・四国を除く) クログワイ(北海道を除く)	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg	1回※	湛水散布	全域の普通期及び 早期栽培地帯
			移植時				田植同時 散布機で 施用	

※各有効成分を含む農薬の総使用回数:オキサジクロメホン…2回以内、ピリミスルファン…2回以内、ベンゾピシクロン…2回以内

豆つぶ250	作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
農林水産省登録 第23000号	移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道・東北) ヒルムシロ セリ オモダカ(東北) クログワイ(東北)	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	250g	1回※	湛水散布または 湛水周縁散布	東北、北陸、関東・東山・ 東海の普通期及び早期 栽培地帯、近畿・中国・四 国の普通期栽培地帯
			移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで	埴土～ 埴土				北海道、九州の普通期 及び早期栽培地帯
				砂壤土～ 埴土				近畿・中国・四国の早期 栽培地帯

※各有効成分を含む農薬の総使用回数:オキサジクロメホン…2回以内、ピリミスルファン…2回以内、ベンゾピシクロン…2回以内

ジャンボ	作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
農林水産省登録 第23000号	移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道・東北) ヒルムシロ セリ クログワイ(近畿・中国・四国)	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回※	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる	全域(北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯
				埴土～ 埴土				北海道

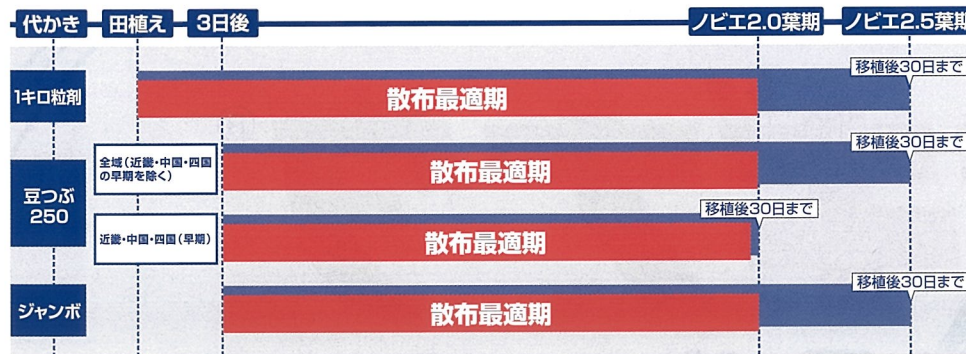
※各有効成分を含む農薬の総使用回数:オキサジクロメホン…2回以内、ピリミスルファン…2回以内、ベンゾピシクロン…2回以内

## 使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期(豆つぶ250の近畿・中国・四国の早期栽培地帯は2葉期)までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。
  - 多年生雑草の散布適期(1キロ粒剤)  
ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ…2葉期まで  
ウリカワ(東北、北陸、近畿・中国・四国)…発生始期まで  
ヒルムシロ…発生始期まで  
セリ…再生始期まで  
オモダカ、クログワイ…発生始期まで  
※豆つぶ250・ジャンボにつきましては製品ラベルでご確認ください。
- オモダカ(1キロ粒剤・豆つぶ250)、クログワイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植付が均一となるように、代かき及び植付作業は丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧にしてください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(1キロ粒剤)。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください(豆つぶ250・ジャンボ)。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(豆つぶ250)。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(ジャンボ)。
- 葉類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布をさせ、本田内で、水田全面に散布してください(豆つぶ250)。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください(ジャンボ)。
- 葉類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になり、部分的な葉害や効果不足を生じるおそれがあるため、使用は避けてください(ジャンボ)。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください(ジャンボ)。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさせていただきます。
  - ・砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)
  - ・軟弱苗を移植した水田
  - ・極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用を避けてください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤は吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めにご使用ください(豆つぶ250)。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

## 上手な使い方 標準的な使用時期

(雑草生育初期での使用が、より効果的です。)



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2014年7月現在の知見に基づいて作成しております。

自然に学び 自然を守る

0981(14-7)